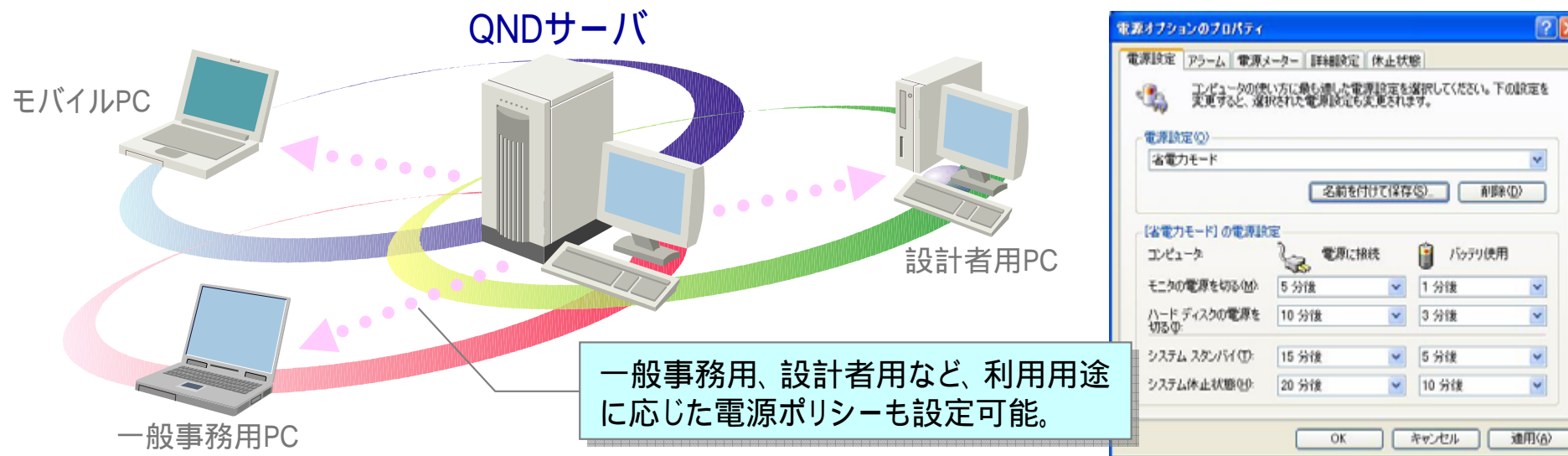


「QAW/QND Plus」によるPC省電力管理

クライアントOSの電源オプションを「省電力モード(システムスタンバイ)」へ一括設定変更することで、クライアント非使用時の待機電力を削減できます。



電源オプションの設定をエンドユーザ任せにせず、会社全体やグループ単位で電源設定の集中管理が可能。今あるPCをそのまま利用し、短期的に効果のあるオフィスの電力削減対策を実現します。

CO₂の削減効果シミュレーション

[前提] 「QAW/QND Plus」を用いて、デスクトップPC(14kWh/台/月) × 600台、及びノートPC(4kWh/台/月) × 400台に対して省電力モードの一括設定を実施し、PCの消費電力を50%削減 1できた場合。

$$(14\text{kWh/月} \times 600\text{台} + 4\text{kWh/月} \times 400\text{台}) \times 12\text{ヶ月} \times 50\% = 60,000\text{kWh/年}$$

$$60,000\text{kWh/年} \times 0.378 (\text{CO}_2\text{排出の原単位 } 2) = \text{約}22,680\text{kgCO}_2/\text{年} \quad \text{年間約}22.6\text{tのCO}_2\text{を削減!!}$$

1 クオリティ(株)社内PCの実測値からの推計

2 「環境省ガイドライン」より出典

上記機能やシミュレーションの詳細は、クオリティ株式会社のホームページ (http://www.quality.co.jp/solution/sol_cont/QND_green_IT.html) をご覧下さい。